

位置づけ

「まち・ひと・しごと創生法」第10条の規定に基づく、市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略

対象期間

人口ビジョン：平成27（2015）年から平成72（2060）年まで
総合戦略：平成27（2015）年度から平成31（2019）年度までの5年間

策定の考え方

震災以降、本市が将来あるべき姿や都市としての持続可能性を見据え、学識者をはじめ、地域団体や市民の意見をいただきながら策定した各計画と整合を図りながら、これらの計画において重点的に取り組む施策・事業を中心に再構築する。

地方創生に対する基本的考え方

【国】

- ・人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口確保
- ・東京一極集中を是正
- ・地域特性に合った効果的な施策立案
- ・将来にわたって活力ある日本社会を維持

【県】

- ・将来的にも東京圏の一翼として日本の創生につながる取組を推進
- ・優れた都市機能、優れた社会基盤、バランスのとれた産業構造という強みを生かした取組を推進

【市】

- ・東京圏にある本市の人口は、当面増加傾向にあり、国が進める地方創生の背景や目的とは異なる点がある
 - ・本市の強みを活かした政策先進都市として地方自治のモデルを示し、日本全体の活力を高めていくことが重要
- ⇒国・県の基本的考え方を本市の実情に照らし合わせた上で、市として必要な取組を進めていく

浦安市人口ビジョン

人口動向（近年の特徴）

- 近年、年少人口及び生産年齢人口は微減もしくは横ばい状態である一方、老年人口は増加している。
H27 総人口…16.4万人（年少人口2.4万人、生産年齢人口11.4万人、老年人口2.5万人）
- 合計特殊出生率は1.09であり、全国平均（1.42）や、千葉県（1.32）、近隣市（市川市1.37、船橋市1.36）よりも低い水準となっている。
- 転入超過では、進学や就職を機とした20代前半が多く、転入元は全国各地からとなっている。
- 転出超過では、20代後半から30代が多く、転出先は東京23区内が最も多くなっている。

将来人口の推計（平成72（2060）年まで）

- 平成36（2024）年に約17万人でピークを迎えた後、緩やかに減少する。
- 年少人口は平成48（2036）年、生産年齢人口は平成36（2024）年にピークを迎え、減少に転じる。
- 老年人口は増加し続け、推計期間中には高齢化率が23%を超える。
H72年の推計値…総人口13.6万人（年少人口1.6万人、生産年齢人口8.8万人、老年人口3.2万人）

人口の分析・将来展望

- 人口動向と将来人口の推計を分析し、地域の将来に与える影響や今後の取組の方向性について提示する。
- 2030年に出生率を1.46（本市希望出生率）まで上げることを目指す。
⇒出産・子育てや人の移動は個人の選択によるもので、その意思に反して政策的に誘導することは困難と考えるが、少子化に歯止めをかけ、年齢構成バランスの維持を図ることで持続可能な地域社会の実現を図る。

浦安市総合戦略 基本目標と施策

目標1 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなう

〈背景〉

- ・合計特殊出生率が1.09と、全国的にも低い水準である
- ・子育て支援に対するニーズが高く、多様である
- ・仕事と子育ての両立が困難という声が多い

市の背景・特徴を踏まえた施策の方向

出会い・結婚、妊娠、出産など、人生の各ステージにおいて個々の希望をかなえるとともに、子育ての不安や負担を解消・軽減し、併せて仕事と子育てが両立できる「子育てしやすいまち」を実現する。
〈数値目標〉①子育てしやすいと感じる人の割合向上

具体的な施策

- 出会い、結婚と妊娠・出産から子育てにわたる切れ目のない支援の充実強化
- 妊娠・出産に対する支援
- 多子世帯やひとり親世帯に対する経済負担の軽減や生活支援
- 保育サービスの充実や、放課後児童の居場所づくりをはじめとする子育てと仕事の両立支援
- 子どもたちが、将来に夢と希望を持って成長できる環境づくり

目標2 新しい人の流れが賑わいを生む

〈背景〉

- ・他都市との連携による相互発展・共存共栄を目指す
- ・本市への来訪目的の多くが、テーマパークである
- ・市外転出者の約2割が、住み替えを理由としている
- ・まちの知名度・好感度UPのため、魅力の創出と効果的なPRが必要

まちの魅力や新たな価値を効果的に発信するとともに、地域間の交流や多様な主体との連携促進により、新たな人の流れを生むことで活性化を図り、将来にわたって「活力あるまち」として維持していく。
〈数値目標〉①浦安の魅力度向上

- 多様な主体との連携強化・交流促進によるまちの活性化
- 良質な住宅ストックの形成と、多様な住まい方ニーズへの対応
- 都市型観光の基盤づくり
- 交通ネットワークの整備・充実
- まちの魅力創出と効果的な発信

目標3 心豊かに安心して住み続けられる

〈背景〉

- ・市内の地域間で年齢構成に大きな差がある
- ・高齢化が進む中、健康寿命の延伸が重要
- ・災害に強く、治安のよいまちづくりを求める声が多い

すべての市民が生涯を通して住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、多様な世代間、地域間におけるコミュニティを成熟させ、地域生活に関わる人や組織が分野を超えて連携し、お互いを支え合うことで、住みがいがあり、永く住み続けたいと思えるまちづくりを実現する。
〈数値目標〉①浦安に住み続けたいと思う人の割合向上

- 高齢社会に対応した健康寿命の延伸
- 医療介護サービスの地域拠点施設整備及び地域包括ケアシステムの早期構築
- 世代や地域を超えた多様なコミュニティづくり
- 総合的な災害対策と犯罪や災害の強い地域コミュニティづくりの推進